

□平日時間割(前年度実績) [前期]4月~7月 [後期]9月~12月

| | | 16:30~18:00 | 18:20~19:50 | 20:00~21:30 |
|---|----|-------------|--------------|--------------|
| 月 | 前期 | 個人スーパービジョン | 仏教心理学と事例検討 | マインドフルネス |
| | 後期 | 個人スーパービジョン | マインドフルネス | スピリチュアルケア援助論 |
| 火 | 前期 | | 心理学と密教の深層心理 | 臨床心理学テスト |
| | 後期 | | 臨床心理援助論 | 臨床心理学テスト |
| 水 | 前期 | | スピリチュアルケア訓練 | スピリチュアルケア訓練 |
| | 後期 | | 終末期医療看護 | 災害時の心のケア |
| 木 | 前期 | 個人スーパービジョン | グループスーパービジョン | グリーフケア |
| | 後期 | 個人スーパービジョン | グループスーパービジョン | こころのケアとは |
| 金 | 前期 | | 真言密教の儀礼 | 高野山の宗教文化 |
| | 後期 | | 対人援助の方法と実際 | メンタルヘルス |

□土曜日開講科目(前年度実績)

[前期]4月~7月 [後期]9月~12月

| | | 9:00~16:10(連続4時限講義 各90分) |
|-----|----|--------------------------|
| 第1週 | 前期 | 対人援助の方法と実際 |
| | 後期 | メンタルヘルス |
| 第2週 | 前期 | グループスーパービジョン |
| | 後期 | グループスーパービジョン |
| 第3週 | 前期 | スピリチュアルケア訓練 |
| | 後期 | スピリチュアルケア訓練 |
| 第4週 | 前期 | 心理学と密教の深層心理 |
| | 後期 | 高野山の宗教文化 |

□夏季スクーリング・集中講義(前年度実績)

各科目3日間~を予定

| | | 9:00~17:50(連続5時限講義 各90分) |
|-------|-----|--------------------------|
| 8月~9月 | 大阪 | スピリチュアルケア概論 |
| | | 死生観 |
| 8月~9月 | 高野山 | 密教瞑想 |
| | 大阪 | コミュニケーション訓練 |
| 2月 | 大阪 | コミュニケーション訓練 |
| | | もの語り心理学 |

■基礎科目 ■実習科目 ■関連科目



※上記は変更になる場合があります。

■学費

| | 入学金 | 前期授業料 | 後期授業料 | 教育充実費 | 合計 |
|-------|---------|---------|---------|--------|---------|
| 1年目履修 | 100,000 | 250,000 | 250,000 | 50,000 | 650,000 |
| 2年目履修 | — | 250,000 | 250,000 | 50,000 | 550,000 |

※資格取得のための臨床実習には別途費用がかかります。※同窓会費として別途30,000円必要です。(単位:円)

募集の流れ・スケジュール

出願期間
必要書類をご用意のうえ、応募してください。
※詳しくは募集要項をご確認ください

一次募集 平成27年 11月4日(水)~11月20日(金) ※消印有効
二次募集 平成28年 2月1日(月)~2月19日(金) ※消印有効

郵送の場合は、下記住所の「高野山大学入学願書受付係」宛に送付してください。直接持参する場合は受付窓口(企画課)に提出してください。
[窓口受付時間] 平日 午前9:00~午後5:00

選考
①書類審査 ②志望動機書(1200字程度)
③面接(個人面接)

面接日 一次募集 平成27年 11月29日(日) 10:00~各20分間
二次募集 平成28年 2月28日(日) 10:00~各20分間

会場 高野山大学 大阪サテライトキャンパス (大阪大学中之島センター5F)

選考結果発表(発送日)
一次募集 平成27年 12月4日(金)
二次募集 平成28年 3月4日(金)

入学手続期間
一次募集 平成27年 12月4日(金)~12月18日(金)
二次募集 平成28年 3月4日(金)~3月18日(金)

●ガイダンス 4月9日(土) 於:大阪サテライトキャンパス (オリエンテーション)
●開講日 4月11日(月)~

高野山大学 大阪サテライトキャンパス
大阪大学中之島センター6F
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53 TEL 06-6444-2100

★電車によるアクセス
○京阪中之島線「中之島駅」より、徒歩約5分 ○阪神本線「福島駅」より、徒歩約9分
○JR東西線「新福島駅」より、徒歩約9分 ○JR環状線「福島駅」より 徒歩約12分
○地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」より、徒歩約10分
○地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より、徒歩約16分

★バスによるアクセス
○大阪市バス(53系統)
大阪駅前バスターミナル(→)「中之島四丁目(旧玉江橋)」下車、徒歩1分
○大阪市バス(75系統)
大阪駅前バスターミナル(→)「田養橋」下車、徒歩2分
○北港バス
淀屋橋発[土佐堀通/住友ビル前] (→)「大阪大学中之島センター前」下車、徒歩1分(中之島ループバス ふらら)



お問い合わせ・願書送付先

高野山大学 入学願書受付係
〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385
Tel.0736-56-2921
URL <http://www.koyasan-u.ac.jp>



高野山大学への交通:大阪難波駅から南海高野線で「高野山駅」下車。高野山駅からバスに乗車にて「千手院橋」バス停で下車 徒歩300m(約4分)。
※大阪難波駅から南海高野線で「高野山駅」まで特急で1時間20分(1日4本)、急行で1時間40分。和歌山・奈良方面からは、JR和歌山線「橋本駅」で南海高野線に乗り換え。

■高野山大学について
高野山大学は1886年に創設された、日本でも最も古い伝統を有する大学です。文学部に密教学科と人間学科、大学院に密教学専攻、仏教学専攻を置き、世界遺産に指定された豊かな自然環境、歴史的伝統の中で、密教・仏教の精神に基づいた教育・研究を行っています。真言宗の宗祖弘法大師空海は、あらゆるいのちの営みを尊び、それぞれの価値を認める教えを説かれました。本学はこの教えに従い、建学の理念を「いのち・文化・創造」と定め、さまざまな文化の価値を認め、新たな文化を生み出す教育を目指しています。

いのちと向き合う
姿勢を学びます

別科
スピリチュアルケアコース
◆大阪サテライトキャンパス◆

2016

高野山大学
Koyasan University

いのちにつまざる諸問題と

しっかりと向かい合えるように

理論に基づいた

実践的な知恵を身につけます

高野山大学

〔別科〕スピリチュアルケアコース

□募集定員／30名 □修業年限／2年

Message

「私達はどこに向かっているのか」

現代人の生活は、科学技術の急速の進歩で非常に便利になりました。経済繁栄を求めて絶え間ない努力のおかげです。その一方では、激しい競争もたらした疲労、不安、無力感が社会を被っています。物質的満足の陰に心の癒しと魂の救いを求める声が立ち上がっています。自然の中で静かにしていきたい。本当の自分を取り戻したい。人の役に立つ仕事をしたい、後悔のない人生を送りたいなどという声を聞きます。人生の危機にある方々と一緒に考え、寄り添う生き方を求める講座が今開講されています。是非、ご参加ください。

聖学院大学教授 窪寺 俊之
〔担当科目〕スピリチュアルケア概論

「人の幸せとは？」

日本社会は、明治維新以来、これまで欧米をモデルにした社会を作ってきましたが、取り入れたのは科学技術中心で、欧米の文化の背景にあるキリスト教精神という彼らの心の問題を無視し、東北アジアに位置する自らの心の伝統を忘れていました。戦後70年が経過し、物は豊かなのに、幸せ度が低いことに気づき、漸く心の問題に気づき始めています。私たちと、この問題を深く見つめ、「自利利他」「共利群生」の社会を目指す基礎作りを一緒に学びましょう。

神戸親和女子大学教授 山添 正
〔担当科目〕グループスーパービジョン／こころのケアとは

「もの語り心理学」

私たちは、日々、生きている。昨日は、どんなことがあっただろうか？明日は、どんなことが起こるだろうか？人生を生きることと、人生を語ることは、とても深い関係にある。なぜならば、もの語りとは、経験を組織する方法のことだからである。もの語りの文法で、私たちは経験を編集しているのである。経験というものが編集作業であるならば、経験を編集し直し、新しい人生に踏み出すこともできる。生きることには、困難がともなう。うまくいかないことも多い。大切なもの、大切な人を失うこともある。「もの」は、物、者、霊でもある。私たちはもの語りによって絶望するが、もの語りによって希望を紡ぐことができる。生きること、喪失すること、生き直すこと、喪失と生成の媒介として働く「スピリチュアルケア」について共に語りあおう。もの語り(ナラティブ)心理学入門の扉は、あなたが叩かなくても、ここにひらいている。

立命館大学特別招聘教授・京都大学名誉教授 やまだ ようこ
〔担当科目〕もの語り心理学

スピリチュアルケアはホスピス運動を歴史的背景として生まれてきたもので、人が死を迎える最期の瞬間までその生を全うすることができるようにケアすることを目的としています。しかし、このようなケアはホスピスにだけ必要なものではありません。生老病死にまつわるあらゆる現象が思い通りにならない苦しみをもたらす、この苦に対処するための知恵が求められています。現代的ホスピス運動や緩和ケアの展開とともにスピリチュアルケアの重要性が注目されるようになった理由がそこにあります。

高野山大学のスピリチュアルケアコースでは、スピリチュアルケアを苦しみの渦中にある人々に寄り添い、共感的に見守る環境を提供することであると幅広く捉え、仏教・密教の教えを背景として自他の「いのちの営み」のために自己を活かすことのできる知恵と技を身につけることを目標といたします。そのための具体的な取り組みとして、①仏教瞑想に起源をもつマインドフルネスを自己覚知の基盤として子育て、看取り、グリーフケアが一連の営みとして循環してゆくケアのあり方を模索すること、②心理療法の知恵と技をケアの基盤として身につけること、③日常生活におけるケア活動が非常時の災害ケアにシフトしてゆく流れを作り出して共同体のレジリエンスを高めること、④直観的で神秘的でもあるいのちの不可思議な働きを受けとめてクライアントと家族のために使いこなすことのできる包容力を養うこと、⑤修了者が現場に立った時に人間関係の荒波を乗り越えこなすことのできるサバイバル能力を涵養することを目指して人材育成をしてゆきます。

【本コースの学びの特徴】

- 【1】仏教・密教の精神に基づき日本の風土にあった新しいケアの可能性を探求します。
- 【2】病院、在宅、施設などあらゆる場面で役に立つ理論に基づいた技を学びます。
- 【3】第一線で活躍する教員をそろえ経験に裏打ちされた実践的な学びが体験できます。
- 【4】本コースは、日本スピリチュアルケア学会の資格認定に必要な教育課程(「認定プログラム」提供団体)を提供し、スピリチュアルケアに携わることのできる人材を育成します。
- 【5】平日を主体とした学び、土曜日を主体とした学び、平日と土曜日を組み合わせた学びなど、社会人のために自由度の高い履修形態を用意しています。

Key Word

仏教・密教の知恵

スピリチュアルケア

死生観

理論と実践の循環

悲しむ力と育む力

自死予防

【カリキュラム】

基礎科目

| 授業科目名 | 単位数 |
|--------------|-------|
| 高野山の宗教文化 | 2(半期) |
| こころのケアとは | 2(半期) |
| 終末期医療看護 | 2(半期) |
| 心理学と密教の深層心理 | 2(半期) |
| スピリチュアルケア援助論 | 2(半期) |
| スピリチュアルケア概論 | 2(半期) |
| 対人援助の方法と実際 | 2(半期) |
| 仏教心理学と事例検討 | 2(半期) |
| 臨床心理援助論 | 2(半期) |
| グリーフケア | 2(半期) |
| 真言密教の儀礼 | 2(半期) |

実習科目

| 授業科目名 | 単位数 |
|--------------|-------|
| グループスーパービジョン | 2(通期) |
| 個人スーパービジョン | 2(通期) |
| コミュニケーション訓練 | 2(通期) |
| スピリチュアルケア訓練 | 2(通期) |
| マインドフルネス | 2(通期) |
| 臨床心理学テスト | 2(通期) |

関連科目

| 授業科目名 | 単位数 |
|----------|-------|
| 災害時の心のケア | 2(半期) |
| 死生観 | 2(半期) |
| 聖地巡礼 | 2(半期) |
| 密教瞑想 | 2(半期) |
| メンタルヘルス | 2(半期) |
| もの語り心理学 | 2(半期) |

修了要件

【基礎科目：14単位】+【実習科目：8単位】+【関連科目：8単位】=計30単位

※資格取得の場合は臨床実習を受講する必要があります。

教員 スタッフより



看取りの場面に寄り添っていると、その人の幼少期における両親との関係や、看取ってくれる子どもたちとの家族関係が透けて見えるような気がする時があります。コンステレーションが読み取れる瞬間です。そして何かをすることからただそこにおいて寄り添うことへのギア

井上ウィマラ 専門：仏教瞑想、スピリチュアルケア

チェンジができること、最期の瞬間に零れ落ちる涙や微かな唇の動きから「ありがとう」という感謝の気持ちが読み取れることも少なくありません。それは、よきグリーフケアへの第一歩になります。こうした心の向け方は、赤ちゃんが泣いた時に「どうしたのかなぁ」と注意を向け、ニュースを読み取り、笑顔になるまで工夫して世話する時の心の持ち方に通じます。今こここのありのままを自覚し抱きとめることのできる心の向け方がマインドフルネスと呼ばれます。ブッダが最もよく使った言葉である「念」を意味する言葉です。マインドフルネス瞑想では呼吸を基本対象として見つめますが、スピリチュアリティという言葉の語源も息によって生かされているものにたどりつきます。患者と家族を支える全人的ケアの要となる俯瞰的視点を提供してくれるのがスピリチュアルな息づかいなのです。その見守りの息づかいに支えられて専門領域を超えて力を合わせるチームワークが生まれてくるのです。高野山大学別科スピリチュアルケアコースでは、こうした学びが成就してゆくように、教員スタッフ一同力を合わせて学生の皆さんを応援してゆきたいと思っています。